



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月6日

上場会社名 **santec**株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6777 URL <http://www.santec.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部次長 (氏名) 山下 英哲 TEL 0568-79-3535
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	3,252	20.9	462	96.2	597	73.1	362	△38.6
28年3月期第3四半期	2,690	34.7	235	230.1	345	31.1	591	66.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 413百万円 (206.8%) 28年3月期第3四半期 134百万円 (△62.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	30.86	—
28年3月期第3四半期	49.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	9,157	8,004	87.4	680.60
28年3月期	8,881	7,755	87.3	659.43

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 8,004百万円 28年3月期 7,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	14.5	530	67.0	650	119.4	400	△23.9	34.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	11,961,100株	28年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	200,314株	28年3月期	200,314株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	11,760,786株	28年3月期3Q	11,941,880株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日。以下、「当第3四半期」)における世界経済は、英国のEU離脱表明以降の金融資本市場の変動や中国をはじめとする新興国の成長鈍化などにより、景気が下押しされるリスクも懸念されましたが、米国を中心とした先進国が牽引し、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

このような中、当社グループは、平成29年3月期の基本方針として「新分野成長基盤確立とグローバル営業強化」を掲げ、新分野におけるマーケットニーズを的確に捉えた製品の積極的市場投入を行い、確固な基盤を築くことを目指すとともに、長期成長を見据えた社員教育に重点をおき、一層の業務効率化と生産性向上を図りながら、事業活動を展開してまいりました。

この結果、当第3四半期における売上高は、米国と日本においてOCT関連製品の売上が前第3四半期累計期間(平成27年4月1日至平成27年12月31日。以下、「前第3四半期」)より大幅に増加したこと、中国を含むアジア地域における光測定器関連製品の販売が引き続き好調であったことから、3,252百万円(前年同期比20.9%増)となりました。売上増加に加え、利益率の高い製品の割合が高まったことから、営業利益は462百万円(同96.2%増)となりました。経常利益は、急激な円安に伴う為替差益及び複合金融商品評価益の計上により597百万円(同73.1%増)となっております。

特別損失に投資有価証券評価損(150百万円)を計上していることから、親会社株主に帰属する四半期純利益は、362百万円(同38.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光部品関連事業

同事業におきましては、北米と中国を含むアジア向け売上が増加いたしました。日本向け売上が低調に推移したことにより、当第3四半期の売上高は1,216百万円と前第3四半期の1,235百万円に比べて1.5%減少いたしました。セグメント利益は182百万円と、前第3四半期のセグメント利益190百万円に比べて4.2%減少しております。

② 光測定器関連事業

同事業におきましては、米国と日本におけるOCT製品売上及び中国を含むアジア地域における製造現場向け波長可変光源の売上が好調であったことにより、当第3四半期の売上高は1,657百万円と、前第3四半期の1,106百万円に比べて49.7%増加いたしました。セグメント利益は243百万円と前第3四半期のセグメント利益9百万円に比べて大幅に改善しております。

③ システム・ソリューション事業

同事業における当第3四半期の売上高は379百万円と前第3四半期の348百万円と比較して、8.8%増加いたしました。インターネットを利用した画面共有ソフトウェアが新規、更新案件、ともに安定的に伸びたことが主な要因であります。セグメント利益は37百万円と前第3四半期のセグメント利益35百万円に比べて3.8%増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末(8,881百万円)に比べて276百万円増加し、9,157百万円となりました。これは、現金及び預金、売掛金などが増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期末の負債は、前連結会計年度末(1,126百万円)に比べて27百万円増加し、1,153百万円となりました。これは、未払法人税等が減少した一方で、賞与引当金、退職給付に係る負債、前受金などのその他流動負債が増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期末の純資産は、前連結会計年度末(7,755百万円)に比べて248百万円増加し、8,004百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年2月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,948,490	2,192,346
受取手形及び売掛金	877,408	961,560
電子記録債権	3,328	5,804
有価証券	338,175	—
商品及び製品	274,918	283,810
仕掛品	72,732	130,160
原材料	242,303	203,169
その他	129,185	90,543
貸倒引当金	△240	△276
流動資産合計	3,886,301	3,867,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,512,877	1,463,635
機械装置及び運搬具(純額)	29,222	25,101
土地	1,592,577	1,592,577
リース資産(純額)	1,603	1,233
建設仮勘定	610	4,622
その他(純額)	139,180	109,263
有形固定資産合計	3,276,073	3,196,433
無形固定資産	28,550	30,761
投資その他の資産		
投資有価証券	1,655,575	2,027,773
その他	34,989	35,618
投資その他の資産合計	1,690,564	2,063,392
固定資産合計	4,995,188	5,290,587
資産合計	8,881,490	9,157,708

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	331,253	347,875
未払法人税等	108,823	9,718
賞与引当金	19,925	86,211
役員賞与引当金	15,843	—
その他	213,652	234,476
流動負債合計	689,497	678,282
固定負債		
退職給付に係る負債	381,948	406,776
資産除去債務	11,891	12,096
その他	42,712	56,182
固定負債合計	436,552	475,055
負債合計	1,126,050	1,153,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	1,735,728	1,934,056
自己株式	△97,194	△97,194
株主資本合計	7,826,565	8,024,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△44,858	1,100
為替換算調整勘定	△26,266	△21,623
その他の包括利益累計額合計	△71,125	△20,522
純資産合計	7,755,440	8,004,370
負債純資産合計	8,881,490	9,157,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,690,534	3,252,631
売上原価	1,394,172	1,601,428
売上総利益	1,296,361	1,651,203
販売費及び一般管理費	1,060,841	1,189,004
営業利益	235,520	462,198
営業外収益		
受取利息	59,207	60,974
受取配当金	9,233	2,076
為替差益	43,679	75,834
その他	24,648	25,991
営業外収益合計	136,768	164,877
営業外費用		
支払利息	30	30
賃貸不動産関係費用	10,206	9,581
休止固定資産関係費用	15,736	15,474
その他	834	4,105
営業外費用合計	26,807	29,192
経常利益	345,481	597,883
特別利益		
固定資産売却益	—	4,789
投資有価証券売却益	430,377	3,530
その他	3,469	—
特別利益合計	433,846	8,320
特別損失		
投資有価証券評価損	—	150,884
その他	114	530
特別損失合計	114	151,414
税金等調整前四半期純利益	779,214	454,789
法人税等	187,562	91,810
四半期純利益	591,651	362,978
親会社株主に帰属する四半期純利益	591,651	362,978

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	591,651	362,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△452,509	45,959
為替換算調整勘定	△4,317	4,643
その他の包括利益合計	△456,827	50,602
四半期包括利益	134,824	413,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,824	413,581
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,235,095	1,106,688	348,750	2,690,534
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,235,095	1,106,688	348,750	2,690,534
セグメント利益	190,055	9,762	35,701	235,520

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,216,087	1,657,052	379,491	3,252,631
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,216,087	1,657,052	379,491	3,252,631
セグメント利益	182,057	243,071	37,069	462,198

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。